

平成29年第1回（2月）定例会 議案に対する質疑通告（発言順位）

議案第1号 平成28年度牧之原市一般会計補正予算（第5号）

1. 1番 平口朋彦 議員

1 歳出 7款 1項 4目 海水浴場開設及び海岸整備費 汲み取り料 471千円

- (1) 相良海岸排砂柵の排砂を産業廃棄物として処理することによる増額補正とのことだが、かつては樋尻川に戻していた排砂を産業廃棄物として処理せねばならないとの指摘は業者からのものだったという。今回から業者が変わったのか。また法的根拠をお聞きしたい。
- (2) 排砂を戻してきた過去の数量等実績は。戻したことによる環境影響があるのか。
- (3) 排砂を産業廃棄物として処理をせずに済む方策については検討しているのか。

2. 2番 大石健司 議員

1 歳出 3款 2項 1目 放課後児童クラブ運営費 △6,901千円

- (1) 嘱託職員報酬、賃金、費用弁償、負担金のいずれの項目も「事業の執行見込みによる減額」となっているが、それぞれ当初予算で設定した利用児童数と嘱託員・職員数などの実績（見込み）との差異を伺う。

議案第2号 平成28年度牧之原市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

1. 6番 植田博巳 議員

1 歳出 2款 2項 1目 一般被保険者高額療養費 42,000千円

負担金の増額42,000千円は実績見込みとあるが、高額医療の実態について伺う。

議案第4号 平成28年度牧之原市介護保険特別会計補正予算（第2号）

1. 3番 藤野 守 議員

1 歳出 2款 1項 1目 要介護者給付費 △200,489千円

市内の高齢化が進んでいる中で要介護者の認定者数が横這いであったための減額としているが、横這いの要因は何が考えられるか伺う。

**議案第 18 号 静岡市及び牧之原市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約について**

**1. 3番 藤野 守 議員**

平成 29 年度実施する事業案が示されているが、農業関係、特に茶業振興や耕作放棄地問題の解決に向け連携する内容の事業は予定されていない。5 市 2 町全体に関係すると考えられるが、その理由を伺う。

**議案第 32 号 牧之原市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例**

**1. 1番 平口 朋彦 議員**

1 「児童館等運営委員会」のメンバーが「子ども・子育て会議」の委員と重複している、またその役割は後者に内包されるものであるとのことから、今回の委員数の変更及び部会についての一部改正案となっている。部会の設置は今後同会議内で諮られると思われるが、市当局として部会の設置についてどのような見解をお持ちか。

2 改正案 第 3 条第 3 項には「必要に応じて部会を設けることができる。」と、いわゆる「できる規定」としての記述が新たに追加されている。

児童館が担う役割と目的は大変重要なものがあり、今まで、より専門的かつ多岐・詳細に渡る協議をお願いしてきたことを鑑みれば部会の設置は必定とも思われる。

「できる規定」による組織の風化や無設置の判断がなされる懸念はないか。

**議案第 36 号 相互救済事業の委託について**

**1. 2番 大石 健司 議員**

1 議会初日の提案説明で「平成 17 年の市制施行時の合併特例で引き継いできた旧 2 町時代からの相互救済事業の期限切れを前に、委託先を大幅に経費削減となる公益社団法人全国市有物件災害共済会に委託する」という説明がなされたが、その根拠となる新旧の委託先の保険料や補償額等の詳細説明を求める。

2 正式事業名は「火災・風水害・落雷その他の原因による財産の損害に対する相互救済事業」であるが「その他の原因」とは何か。地震や津波被害も含まれるのか。

3. 「委託する財産」は「本市が所有又は占有に属する財産で必要なもの」とあるが、具体的には何を指すのか。市の財産で「必要でないもの」があるのか。